

■「TDA(西日本)全員集合inファブリカ村」のご報告



11月24日(土)PM14時より12名の参加者で開催しました。

[寺井、鈴木、山口、野々口、岩岡、國米、北川、内丸、吉村、尾原、矢澤、今井、学生さん]

今回は参加者皆さんの近況報告とお仕事での作品やカタログを持参、ファブリカ村で持参商品の販売も可能ということで皆さんのコミュニケーションがより一層深まった感じでした。その時の状況を、できるだけお伝えして、次回多くの会員の皆様に集合していただきたくご報告させていただきます。懐かしい顔ぶれや大先輩方もお迎えして大変有意義な時間を共有しました。今回内丸もと子さんのご紹介で滋賀県立大学生活デザイン学科4回生の山本沙也(さや)さんも体験参加してくれました。自己紹介に作成途中の作品を持参してくれました。若い世代がテキスタイルに興味を持ち、地元滋賀県の高島縮を使った独自の卒業制作に取り組んでおられる姿が、とても初々しかったです。地域活性化や次世代へのものづくりの発信は、TDAのテーマでもありますが若い世代に継承されるための活動も必要不可欠に思います。

そして今回の開催地 ファブリカ村についてのご紹介

滋賀の発展に尽力されてる北川陽子さんがカフェギャラリーとしてファブリカ村をオープンされて9年の年月が経ちました。近江の麻織物の発祥地、現在のファブリカ村は織物工場の跡地です。工場経営者で名職人だった亡父の残された工場を地元コミュニケーション作りとアーティストの作家活動の場として「集うコミュニケーション文化」を発信されています。

最近SNSの影響で他府県からも来られるそうです。

山口道夫さんをはじめとする大先輩の皆さんは、山口氏の作品をご覧になりながら、当時の近江の麻工場の思い出話に会話が弾んでました。

大先輩の皆様は、お元気に人生を謳歌されてました。「夢に日付を打つと目標になるよ!」と元気付けてくださった鈴木洋行さんは現住の岡山から参加してくださいました。相変わらず繊維業界の生き字引です。

いつもダンディーな寺井洋介さんは、「夢に日付を打ちまくって今日も元気に日々楽しく」がライフスタイルだそうです。

久々に参加していただいた 野々口悟さんもお仕事の合間、作品作りを個展を目標に楽しんでおられるとのことでした。

大先輩の皆様の経験豊かなお話に堪能!

ものづくりの背景を知ることは、次世代の地場産業へ夢と期待が持てます! それを体験した貴重な時間でした。

地球環境に配慮した繊維リサイクルではなくアップサイクルに尽力されてる内丸もと子さんの自己紹介や医療現場をきっかけにプラスデザインが活かされるコンシェルジュ活動を始動された矢澤寿々子さんの近況。

尾原久永さんはTDA内で「創作、販売、」まで視野に入れた継続性のあるテキスタイルコミュニティとして「Textile Society」を提案発起。10月に開催されましたその第一回目「ベンガラ染めのお話を聴く会」のお話や地場産業の活動に個人で従事されている、国産タオルや靴下の商品のご紹介等、現場の苦労話も、商品を拝見しながらお聞きすることで尾原氏のものづくりへの熱意に元気をもらいました。

西脇から遠方参加いただいた国米利美さんの作品は肌馴染みの良い素材感と優しいソフトカラーのストール。

テキスタイルデザイナーとしてアーティストとして頑張ってる岩岡律子さんや今井要さんの作品のご紹介。

夜の懇親会もほぼ全員参加で、北川さんから美味しくヘルシーな食事を用意していただき、名残惜しい時間でした。

ちなみに私吉村は、9月に事務所を移転してテキスタイルを中心にした企画会社を立ち上げ今年で25年目になります。

仕事は、コミュニケーションが基本と実感しております。何歳かはさておき、誕生日前日で、皆さんに暖かくお祝いしていただいたことを明日への仕事の活力にさせていただきます。感謝!

文責: 吉村千恵子



TDA TEXTILE FESTA

TDAテキスタイルフェスタ2017

日時 2017年6月10日、11日
場所 横浜赤レンガ倉庫1号館2Fロビー

横浜赤レンガ倉庫でTDAテキスタイルフェスタが行われました。

今回は16ブースの展開になりました。

テキスタイルに携わる作家さんの展示販売、会話を楽しみながらの販売は活気を帯びていました。



TDAテキスタイルフェスタ2018

4月14、15日に横浜赤レンガ倉庫でTDAテキスタイルフェスタが行われました。

15日の朝は春の嵐がりましたが、開店前には青空が広がりが心地よいスタートになりました。

